

for 新入社員

～活躍応援ガイドブック～
早期活躍のコツ

ご入社おめでとうございます！

この度は、ご入社おめでとうございます。
どのようなお気持ちで、このガイドブックをご覧になっていますでしょうか？

一刻も早く成果を出すぞ！



新しい環境にワクワク♪



成果が出せるか不安だ…



「希望」 「期待」 「不安」 「緊張」
といった、様々な感情が混じり合っているのではないのでしょうか。

そこで、このガイドブックでは、
年間6万人以上の転職支援をしてきたエン・ジャパンから
「早期活躍のコツ」をご紹介します。

期待の整理

自分自身が就職・転職を通して会社に期待をするように、会社もあなたに期待をしています。
自分自身の期待と会社からの期待がそろっているWin-Winな状態
を目指して頑張れるように、まずは期待の整理をしましょう。

<期待の整理のフレームワーク>

	短期（1年後）	中期（3～5年後）
自分自身の期待	② 中期から逆算して考える	① どのような状態でありたいか？
会社からの期待	④ まずは何を目標として頑張ればいいのか？ (不明確な場合は、上司に確認)	③ どのような状態を期待されているか？

Win-Win

Win-Win

考える順番

①中期の自分自身の期待 ②短期の自分自身の期待 ③中期の会社からの期待 ④短期の会社からの期待

早期活躍に必要な要素

$$\begin{array}{ccccc} \text{仕事の成果} & = & \text{考え方} & \times & \text{能力} \\ (-10,000点\sim 10,000点) & & (-100点\sim 100点) & & (0\sim 100点) \end{array}$$

自分と会社の期待を満たすWin-Winな目標が明確になった後は、成果を出すために必要な要素を理解しましょう。

仕事の成果は、“考え方”と“能力”の2つの要素の掛け算で決まります。
（“熱意”を含め、3つの掛け算にすることも）

能力は0点から+100点。考え方は-100点から+100点まであります。
考え方次第で、仕事の成果は180度変わってくるということです。

成果を出すために“まず”取り組みたい、考え方と能力を高める9つのコツを見ていきます。

考え方

仕事の姿勢や物事の捉え方

能力

対人関係能力、業務遂行能力

高めるコツ

考え方を高める

①プロ意識を持つ

- ・本業として収入を得ている人がプロ。成果に強い執着心を持つ。
- ・「放置されている」と感じて、他責にせず、自ら主体的に動く。
- ・謙虚な姿勢を忘れない。

②プラス思考を習慣化する

- ・成果が出ない時期も焦らず、未来志向で考えるようにする。
- ・ネガティブな言葉をポジティブな言葉に言い換える。
- ・常に前向きな思考を持つ。前向きな言葉を発する。

③GIVE & TAKE を実行する

- ・自分中心でなく、周囲の期待に応えることを優先する。
- ・自分への期待を会社の期待に結び付けることを忘れない。



対人関係能力を高める

④ まずは入社した会社のカルチャーを尊重して行動する

- ・ 「馴染む＝マネる」ことが信頼関係構築の第一歩となる。
- ・ 馴染むまでは、カルチャーに従う（言葉遣い、書類作成、メールなど）

⑤ ビジネスマナーを大切にする

- ・ 自分の言動は周囲から注目されていることを理解する。
- ・ 挨拶、報連相、時間・約束を守るなどのビジネスマナーを徹底する。

⑥ 業務外のコミュニケーションを疎かにしない

- ・ 主体的にコミュニケーションをとり、早期に良好な関係を築く。
- ・ 周囲に対して積極的な自己開示を行う。



業務遂行能力を高める

⑦仕事に必要な能力・スキルを見極める

- ・自分の役割、仕事に必要な能力・スキルを理解する。
- ・自分の強み・弱みを整理して、強化ポイント、強化方法を考え実行する。

⑧学習や情報収集を継続しておこなう

- ・継続して成果を上げるために、新聞や書籍、インターネット、会話などを通じて知識や情報のインプットを続ける。（経済・社会動向/業界知識/商品知識/顧客/競合など）

⑨より難しい仕事に積極的にチャレンジする

- ・今できる仕事だけを積み重ねても、業務遂行能力の幅は広がらない。
- ・今までにない知識やスキルを必要とする、より難しい仕事に率先して取り組む。



VUCA時代こそ「考え方」×「能力」



VUCAと呼ばれる激動の時代。

与えられた仕事を従順にこなすだけでなく、変化に適応・対応する力など、従来とは異なる能力の必要性も高まっています。

VUCA時代こそ、仕事の姿勢や物事の捉え方といった「考え方」と、どんな時代や環境でも必要な「能力」を高めていきましょう。